

部落解放研究第40回全国集会 開催要綱

【集会テーマ】 部落問題解決をはじめ、あらゆる差別の撤廃をめざす理論と実践の活動交流をすすめる、人権の法制度確立にむけた取り組みを前進させよう！

【主催】 部落解放研究第40回全国集会中央実行委員会

【日時】 2006年9月30日(土)～10月2日(月)

【場所】 グランメッセ熊本 他

【規模】 10,000人

【日程】

期日	時刻	9:00	9:30	12:00	13:00	16:00	18:00
9 / 30				受付	全体集会		出身教師交流会
10 / 1	受付	分科会	昼食	分科会			
10 / 2	受付	全体集会					

【参加対象】

- ① 部落解放運動・研究にかかわる研究者・労働者・市民・宗教者・企業関係者・学生など
- ② 部落解放をめざす行政・教育関係者および各級議員
- ③ 部落解放同盟の活動家をはじめとする部落大衆

【構成団体】

全国同和教育研究協議会 部落解放中央共闘会議
 全国大学同和教育研究協議会 社団法人部落解放・人権研究所
 『同和問題』にとりくむ宗教教団連帯会議 同和問題に取り組む全国企業連絡会
 部落解放同盟中央本部 地元(熊本県)実行委員会

【集会内容と会場】

9 / 30(土)		全 体 集 会 (第 1 日 目)	
12:00	受 付	グランメッセ 住所 〒861-2235 熊本県上益城郡益城町福富1010	
13:00	開 会	TEL 096-286-8000	
13:05	主催者代表挨拶		
13:10	現地実行委員長挨拶		
13:15	来賓挨拶・紹介		
13:30	シンポジウム テーマ「差別の現状と人権救済法制度の確立—人権侵害救済法を求める」 〈コーディネータ〉 山崎 公士 (新潟大学教授) 〈パネラー〉 内田 博文 (九州大学教授) 『鳥取人権侵害救済条例の批判の検証』 北口 末広 (部落解放同盟中央執行委員) 『部落差別の視点から』 江原 由美子 (首都大学東京教授) 『女性差別の視点から』 金 政玉 (障害者インターナショナル日本会議事務局次長) 『障害者差別の視点から』 丹羽 雅雄 (弁護士) 『在日外国人差別の視点から』		
16:30	事務連絡 / 閉 会		

10 / 1 (日) 分 科 会 (第 2 日 目)		10 / 1 (日) フィールドワーク (第 2 日 目)	
9:00	受 付	9:00	Aコース (水俣) 出発
9:30	分科会開会		
12:00	昼 食	10:00	Bコース (恵楓園) 出発
13:00	分科会再開		
16:00	分科会閉会	16:00	閉会・解散

10 / 2 (月)		全 体 集 会 (第 3 日 目)	
9:00	受 付	熊本市総合体育館 住所 〒862-0941 熊本市出水2-7-1	
9:30	開 会	TEL 096-385-1010	
9:35	特別報告	福原 宏幸 (大阪市立大学教授) 『市場原理主義と社会的排除—それへの選択肢』	
10:15	特別報告	高野 真澄 (香川大学名誉教授) 『憲法問題を考える—差別撤廃の視点から』	
10:55	特別報告	原田 正純 (熊本学園大学教授) 『水俣病公式認定50年の課題』	
11:35	閉 会		

全国部落出身教職員連絡会 全国交流会会場案内図

9月30日(土) 全体集会終了後(午後6時から)



☆参加費は、当日受付にてお支払いください。

【参加割当】

都府県	人数	都府県	人数	都府県	人数	都府県	人数
東京	200	静岡	20	和歌山	270	高知	180
埼玉	150	愛知	80	大阪	800	愛媛	10
群馬	150	岐阜	80	兵庫	600	福岡	1000
栃木	70	三重	170	岡山	180	大分	320
千葉	50	富山	10	広島	350	長崎	70
神奈川	65	石川	10	山口	55	熊本	3000
山梨	5	福井	15	鳥取	320	佐賀	200
長野	75	滋賀	280	島根	35	宮崎	100
新潟	15	京都	300	徳島	180	鹿児島	100
福島	5	奈良	300	香川	180		

【参加申し込みについて】

- ①参加・資料費は4,000円です。部落解放同盟の各都府県連で一括集約をお願いいたします。
- ②一般参加の方も、それぞれの部落解放同盟各都府県連にお申し込み下さい。
- ③参加・資料費の振り込み先は、部落解放同盟各都府県連から一括で下記の口座へ、お振り込みをお願いいたします。

《振り込み先》

銀行名：りそな銀行 桜川支店
普通預金 口座番号 4 2 6 3 0 4
名義人：部落解放同盟中央本部（全研）組坂繁之

【宿泊・お弁当申し込みについて】

- ①宿泊費につきましては、一律の料金が設定できませんので、ランク別の料金設定になります。申し込み順に希望を受け付けます。（お部屋数に限りがあり、ご希望にそえない場合がございますが、ご了承下さい。）料金・宿泊場所等につきましては、旅行社より宿泊・昼食・交通のご案内を各都府県連に送付されますのでご参照ください。
- ②お弁当（お茶付き）1,000円（税込み）
- ③宿泊・お弁当の申し込み先
株式会社 J T B（ジェイティービー）九州熊本支店
〈担当〉田原（タバラ）・宮田（ミヤタ）
T E L 096-325-8193 F A X 096-325-8105
住所 〒860-0807 熊本市下通り1-8-22
- ④宿泊予約のお取り消しについては、下記の取り消し料金が必要となりますので、あらかじめご了承下さい。
取り消し金額 宿泊日を入れた6日前……………20%
宿泊当日連絡をした場合（10月2日）……………50%
宿泊当日無連絡の場合……………100%
- ⑤宿泊・お弁当のお支払いはお申し込みいただきました際に、振込用紙を郵送いたしますので、振込用紙にてお振込みをお願いいたします。
- ⑥申し込み締め切り日 2006年8月25日（金）【期日厳守をお願いします】

【分科会の内容について】

分科会テーマ	討 議 の 柱
<p>1 部落差別の現状－実態と把握方法－</p>	<p>①部落差別の現状について、5領域（実態的被差別・心理的加差別・差別事件・実態的加差別・心理的被差別）の視点から、差別事件・近年行われた意識調査・生活実態調査をとおして具体的に学ぶ。</p> <p>②部落差別の実態把握方法について考える。</p> <p>〈司 会〉西島 藤彦（部落解放同盟）</p> <p>〈報 告〉 『部落差別の現実把握の5領域論』『2005年大阪府民意調査にみる加差別の現実』 奥田 均（近畿大学） 『被差別部落の実態に学ぶ－鳥取県「同和地区生活実態把握等調査」から』 國歳 眞臣（鳥取大学） 『大量差別ハガキ事件と現在の人権救済の限界』 浦本 誉至史（部落解放同盟）</p> <p>〈総括討論〉 『部落差別の現状把握－実態と方法』</p>
<p>会 場</p>	<p>産業文化会館大ホール 熊本市花畑町7-10 ☎096-325-2311</p>
<p>2 部落史と解放運動史の課題</p>	<p>①熊本県の部落史研究（前近代）の研究成果を学習する。</p> <p>②福岡市同和教育研究会が行っている歴史学習の中における部落史学習の取り組み（学習内容の検討、実施結果〈感想・声〉）を踏まえ、今日の研究水準から部落史学習の内容を考える。</p> <p>－午前の部－ 〈前近代〉 〈司 会〉藤沢 靖介（東日本部落解放研究所） 〈助 言〉寺木 伸明（桃山学院大学） 〈報 告〉『熊本の部落史（前近代）』山本 尚友（熊本学園大学）</p> <p>－午後の部－ 〈近現代〉 〈司 会〉竹森 健二郎（福岡県人権研究所） 〈助 言〉 〈報 告〉『福岡発！ 今Dokiの部落史学習－部落史学習の新構想』 大谷 和弘（福岡市同和教育研究会） 原田 雅秀（福岡市同和教育研究会）</p>
<p>会 場</p>	<p>鎮西高等学校 熊本市九品寺3-1-1 ☎096-364-8176</p>

	分科会テーマ	討 議 の 柱
3	狭山再審闘争 と司法民主化 の課題	<p>①狭山事件の第3次再審請求で弁護団が訴えている内容を学習しながら、冤罪の原因と誤判救済への道を考える。</p> <p>②部落差別が生んだ冤罪である狭山事件の真相、石川一雄さんの無実を原点にかえて考える。</p> <p>③狭山事件や他の冤罪事件の実態を通して、冤罪・誤判を生み出す社会、刑事司法の問題点を明らかにし、冤罪・誤判をなくすための課題を考える。</p> <p>④各地域の狭山支援の取り組み「狭山事件を考える住民の会」の活動の交流をはかるとともに、市民にとっての司法や冤罪支援の市民運動を考える。</p> <p>⑤国際人権自由権規約など国際人権法や人権基準、各国の制度に学び、日本における司法改革のあり方を考える。</p> <p>⑥司法制度改革における証拠開示ルール化の到達点と今後の課題を明らかにする。誤判・冤罪をなくすための司法制度改革の今後について考える。</p> <p>⑦裁判員制度とは何か、制度の導入にともなってどのような課題があるかを市民の立場から考える。</p> <p>〈司 会〉小野寺 一規（部落解放同盟）</p> <p>〈助 言〉片岡 明幸（部落解放同盟）</p> <p>〈報 告〉</p> <p>『狭山事件第3次再審請求の概要と課題』 中山 武敏（狭山事件再審弁護団）</p> <p>『狭山事件から日本の司法を考える』 庭山 英雄（弁護士、元専修大学）</p> <p>『えん罪事件はなぜおこるのか～元鑑識課員の立場から』 齋藤 保（指紋鑑定士）</p> <p>『鹿児島・志布志町事件から市民の人権を考える』 武田 佐俊（住民の人権を考える会） 鹿児島・志布志事件被告・関係者</p>
	会 場	国際交流会館ホール 熊本市花畑4-8 ☎096-359-2020

	分科会テーマ	討 議 の 柱
4	差別事件の実態と差別糾弾闘争の課題	<p>①差別事件の当事者からの報告などを中心に、差別事件の取り組みを通して、部落差別の実態と差別事件の今日の特徴を明らかにする。とくに、インターネット上の差別事件について取り組みを論議する。</p> <p>②差別意識のありようや捉え方についての論議を通して、今後の差別糾弾闘争の実践的課題を明らかにする。</p> <p>③「人権侵害救済法」制定の取り組みと合わせて、人権政策確立にむけた法制度・施策を検討する。</p> <p>〈司 会〉岸本 厚美（部落解放同盟）</p> <p>〈助 言〉北口 末広（部落解放同盟）</p> <p>〈報 告〉</p> <p>『広島県呉市連続・大量差別紙片事件の経緯と課題』 得田 正明（部落解放同盟）</p> <p>『三重県立松阪商業高校元教員差別事件について』 松岡 克己（部落解放同盟）</p> <p>『兵庫県尼崎市インターネット差別事件の取り組み』 細見 義博（部落解放同盟）</p>
	会 場	九州学院高等学校 熊本市大江5-2-1 ☎096-364-6134
5	人権侵害救済法制度早期確立へー人権侵害救済の今とこれからー	<p>①人権侵害被害の現状を具体的な差別事件に沿って検証する。</p> <p>②人権被害救済の取り組みから、あるべき人権救済制度を考える。</p> <p>③人権侵害被害救済の法制度の早期確立への課題を探る。</p> <p>〈コーディネーター〉山崎 公士（新潟大学）</p> <p>〈パネラー〉寺下 誠（大阪府）『大阪府の人権相談事業の取り組み』</p> <p>中田 幸雄（部落解放同盟）『鳥取県人権救済条例をめぐる動向』</p> <p>組坂 繁之（部落解放同盟）『人権侵害救済法をめぐる情勢』</p> <p>江原 由美子（首都大学東京）『横浜市の男女人権相談室の取り組みより』</p>
	会 場	パレア(くまもと県民交流館)ホール 熊本市手取本町8-9 テトリア熊本ビル10階 ☎096-355-4300

	分科会テーマ	討 議 の 柱
6	<p>今後の人権・同和行政の展望と課題</p>	<p>①「法」失効後の同和行政を振り返り、人権行政としての同和行政の今後の課題を考える。</p> <p>②昨今の市町村合併が、部落差別撤廃・人権条例にどのように影響したかをふりかえり、部落問題解決の取り組みにどのように活用するかを検討する。</p> <p>③2005年度よりの生活保護制度の高校生への就学費用給付をめぐる制度内容の整理と、周知の取り組みを通じて、生活困難家庭の就学支援のあり方を考える。</p> <p>④部落の就労問題の克服に対して、今日の若年者就労支援の仕組みをどのように活用するかを、「若者自立塾」の実践を通じて検討する。</p> <p>⑤セーフティネットとしての公営住宅制度改正が、今日的な部落の住環境問題に与える意義と課題を検討する。</p> <p>〈司 会〉赤井 隆史（部落解放同盟）</p> <p>〈助 言〉菱山 謙二（筑波大学） 松岡 徹（部落解放同盟）</p> <p>〈報 告〉</p> <p>『「法」失効後の同和行政と今後の課題』 谷川 雅彦（部落解放同盟）</p> <p>『部落差別撤廃・人権条例制定の現状と今後の課題』 友永 健三（部落解放・人権研究所）</p> <p>『生活保護制度における高校就学費用給付の整理の取り組み』 福永 謙二（部落解放同盟）</p> <p>『若年者就労支援の取り組みの新展開』 山中 辰也（おおさか若年就労支援機構）</p> <p>『公営住宅法改正と部落問題』 内田 雄造（東洋大学）</p>
	会 場	熊本商業高等学校 熊本市神水1-1-2 ☎096-384-1551

	分科会テーマ	討 議 の 柱
7	地域の子育てと人権教育の創造	<p>①低学力の社会的背景、部落をはじめ社会的困難を抱える児童生徒の学力向上で成果を上げる学校＝「効果のある学校」づくりの重要点を明らかにする。</p> <p>②福岡県田川市が独自に取り組んだ学力調査の特徴と、それを基にした「授業改善の指針」作成の経過と活用状況を知る。</p> <p>③上記①②等をふまえて、2007年度以降、毎年実施予定の、全国学力調査のあり方を検討する。</p> <p>④2007年度、「学校評価」公表義務づけのための制度改正が実施されます。「学校自己診断」として1999年から3回実施し学校づくりに生かすと共に、家庭教育診断にも踏み込んだ大阪府池田市立伏尾台小学校の実践から、学校評価のあり方を検討する。</p> <p>⑤人権・同和教育の視点から教育基本法「改正」の問題を検討する。</p> <p>〈司 会〉吉岡 正博（部落解放同盟）</p> <p>〈助 言〉高松 秀憲（全国同和教育研究協議会） 岡田 健悟（部落解放同盟）</p> <p>〈報 告〉 『効果のある学校づくり－学力保障、人権のための学校・家庭・地域の協働』 志水 宏吉（大阪大学）</p> <p>『学力調査（就学前教育・自尊感情等も含む）の結果と 「授業改善の指針」作成の経過と活用』 中野 直毅（福岡県田川市教育委員会）</p> <p>『学校教育診断とわが家の家庭教育診断－学校評価を考える』 森山 康浩（大阪府池田市立伏尾台小学校前校長）</p> <p>『教育基本法「改正」問題を検討する－人権・同和教育の視点より』 桂 正孝（宝塚造形芸術大学）</p>
	会 場	尚綱高等学校 熊本市九品寺2-6-78 ☎096-366-0295

	分科会テーマ	討 議 の 柱
8	部落の生活と 福祉・隣保館 の課題と人権 のまちづくり	<p>①部落の生活・福祉の拠点としての隣保館の意義について再確認する。</p> <p>②2006年の「全国隣保館市町村合併等アンケート調査」（全隣協）の報告を中心に、この間の市町村合併がおよぼす隣保館活動への影響等について学習する。</p> <p>③「地方分権」が進む中、住民（当事者）の立場に立った「新たな公」の役割や「補完性原理」について学びながら、「指定管理者制度」のあり方等を検討する。</p> <p>④福祉を中心にとりくまれている人権のまちづくりの各地の事例に学び、広く人権のまちづくりを検討する。</p> <p>一午前の部一 〈学習講演〉 〈司 会〉田川 雅人（部落解放同盟）</p> <p>〈講 演〉 『地方分権時代における「新たな公」の役割と指定管理者制度』 中川 幾郎（帝塚山大学）</p> <p>〈報 告〉 『2006年度全国隣保館市町村合併アンケート調査』 平家 陽一（全国隣保館連絡協議会）</p> <p>一午後の部一 〈シンポジウム〉『これからの隣保館活動を提言する』 〈コーディネーター〉大北 規句雄（部落解放同盟）</p> <p>〈パネラー〉中川 幾郎（帝塚山大学） 厚生労働省 中尾 由喜雄（全国隣保館連絡協議会） 谷元 昭信（部落解放同盟）</p>
	会 場	熊本マリスト学園高等学校 熊本市健軍2-11-54 ☎096-368-2131

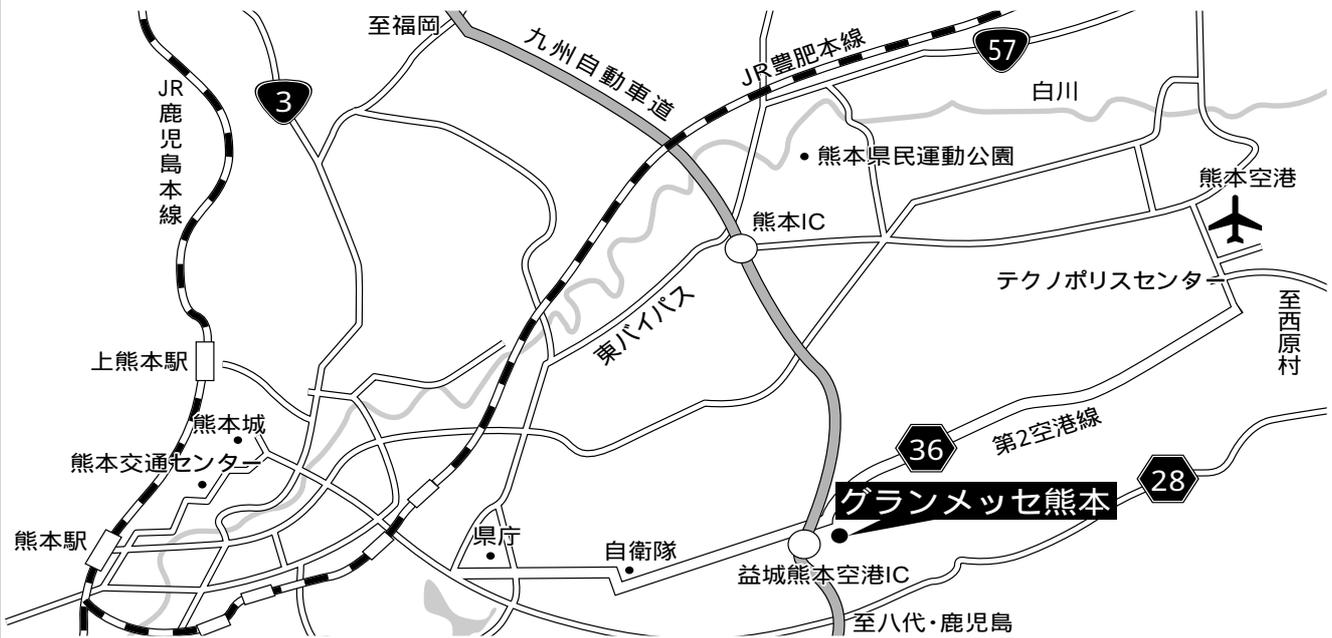
	分科会テーマ	討 議 の 柱
9	効果的な人権啓発の可能性を探る	<p>①意識調査を踏まえ、より効果的な部落問題についての啓発と、「人権のまちづくり」などの取り組みの協働が忌避意識克服に重要な役割を果たすという視点を啓発に活かす方法を考える。</p> <p>②「人権教育のための国連10年」は終了したが、新たに「国連持続可能な開発のための教育の10年（E S D）」が提唱されている。成人対象の人権啓発に「E S Dの10年」国内実施計画がどう活用できるかを整理する。</p> <p>③経済格差の広がりなどの社会問題が差別意識の悪化につながることも懸念される。多様で複雑な社会の中で、差別をなくし、すべての人が人間らしい生活を送るために、行政や市民、企業などが共に取り組むべき活動や啓発のあり方を討議する。</p> <p>〈司 会〉森 実（大阪教育大学）</p> <p>〈助 言〉上杉 孝實（畿央大学） 吉田 勝夫（部落解放同盟）</p> <p>〈報 告〉</p> <p>『意識調査からみる差別意識克服の課題～2005年大阪府民意識調査から』 時岡 新（金城学院大学）</p> <p>『意識調査からみる差別意識克服の課題～2004年三重県民意識調査から』 竹村 一夫（大阪樟蔭女子大学）</p> <p>『持続可能な開発のための教育〈E S D〉の視点を人権啓発に』 森 実（大阪教育大学）</p> <p>〈実践報告〉</p> <p>『〈E S D〉の視点で、地域からの新しい学びのしくみをつくる —豊中の取り組みから—』 榎井 縁（(財)とよなか国際交流協会） 大源 文造（豊中市環境部環境政策室）</p>
	会 場	慶誠高等学校 熊本市大江4-9-58 ☎096-366-0128

	分科会テーマ	討 議 の 柱
10	反差別国際連帯の課題	<p>①差別撤廃にむけた反差別の「国際連帯」は、「共通の課題」への異なる主体の協働を通じて強化される。具体的には、国連人権理事会の今後のあり方とあわせて、1.職業と世系に基づく差別の撤廃にむけた新たな国際人権基準づくり、2.人種差別撤廃委員会日本政府報告書審査にむけた最終所見の実現や人種主義に関する国連特別報告者（デュ・デュ・ディエンさん）による日本公式訪問報告書の勧告の実現、等の共通の課題について討議する。</p> <p>②国内外の反差別国際連帯活動の経験共有を通じて、それぞれにとっての多民族・多文化共生を考える。</p> <p>〈司 会〉原 由利子（反差別国際運動日本委員会）</p> <p>〈助 言〉和田 献一（部落解放同盟）</p> <p>〈報 告〉</p> <p>『「草の根」と「国際社会」をつなぐ －反差別国際連帯に向けた国際的な人権保障の仕組みの活用とは？』 森原 秀樹（反差別国際運動日本委員会）</p> <p>『水平社宣言と反グローバル覇権共同戦線 －部落解放運動と他の被差別マイノリティの共通課題への協働を通じた「連帯」』 武者小路 公秀（反差別国際運動日本委員会）</p> <p>『世界を識字しー多民族・多文化共生社会にむけた道のりー』 李 榮 汝（アプロ女性実態調査プロジェクト）</p>
	会 場	<p>パレア(くまもと県民交流館)会議室1 熊本市手取本町8-9 テトリア熊本ビル9階 ☎096-355-4300</p>

【会場案内図】

全体集会(1日目)

グランメッセ



交通機関につきましては、
臨時便バスをご利用ください。

(住所) 熊本県上益城郡益城町福富1010

(TEL) 096-286-8000

全体集会(3日目)

熊本市総合体育館



交通機関

・熊本市電「市立体育館前」または「商業高校前」下車
徒歩5分(約300m)

(住所) 熊本市出水2-7-1

(TEL) 096-385-1010

産業文化会館(大ホール)

第1分科会 部落差別の現状 - 実態と把握方法 -



交通機関

- ・熊本市電「辛島町」下車徒歩1分(約50m)
- ・熊本交通センターから徒歩2分(約100m)

(住所) 熊本市花畑町7-10

(TEL) 096 - 325 - 2311

国際交流会館ホ-ル

第3分科会 狭山再審闘争と司法民主化の課題



交通機関

- ・熊本市電「熊本城前」下車徒歩2分(約120m)
- ・交通センターから、徒歩約5分(約300m)

(住所) 熊本市花畑4-8

(TEL) 096 - 359 - 2020

鎮西高等学校 第2分科会 部落史と解放運動史の課題

交通機関

・熊本市電「交通局前」下車徒歩3分(約180m)

(住所) 熊本市九品寺3-1-1

(TEL) 096-364-8176

九州学院高等学校 第4分科会 差別事件の実態と差別糾弾闘争の課題

交通機関

・熊本市電「交通局前」下車徒歩3分(約180m)
 ・熊本市営バスまたは産交バス「九州学院前」下車

(住所) 熊本市大江5-2-1

(TEL) 096-364-6134

尚綱高等学校 第7分科会 地域の子育てと人権教育の創造

交通機関

・熊本市電「交通局前」または「九品寺交差点」下車
 徒歩5分(約300m)

(住所) 熊本市九品寺2-6-78

(TEL) 096-366-0295

慶誠高等学校 第9分科会 効果的な人権啓発の可能性を探る

交通機関

・熊本市電「交通局前」下車徒歩3分(約180m)

(住所) 熊本市大江4-9-58

(TEL) 096-366-0128



パレア（くまもと県民交流館）

10階ホール **第5分科会** 人権侵害救済法制度早期確立へ
— 人権侵害救済の今とこれから —

9階会議室1 **第10分科会** 反差別国際連帯の課題



〈交通機関〉

・熊本市電「水道町」下車徒歩1分(電停スグ)

(住 所) 熊本市手取本町8-9
テトリア熊本ビル9・10F

(TEL) 096-355-4300

熊本商業高等学校

第6分科会 今後の人権・同和行政の展望と課題



〈交通機関〉

・熊本市電「商業高校前」下車徒歩1分(電停スグ)

(住 所) 熊本市神水1-1-2

(TEL) 096-384-1551

熊本マリスト学園高等学校

第8分科会 部落の生活と福祉・隣保館の課題と人権のまちづくり



〈交通機関〉

・熊本市電「健軍校前」下車徒歩1分(約50m)

(住 所) 熊本市健軍2-11-54

(TEL) 096-368-2131

【フィールドワーク コース案内】

◆Aコース 公害と差別について学ぶ

■定員 80人

■参加費 5,000円 (昼食・資料代・交通費含む)

■集合・出発時間 午前8時30分集合 午前9時出発

■日程 9:00 熊本交通センター (ボーリング場下) 出発
移動 (高速)
11:30 水俣着
相思社・考証館見学
12:00 (昼食) 移動
13:00 環境センター・水俣市立水俣資料館
14:00 移動 (高速)
16:00 熊本交通センター (ボーリング場下) 着・解散

◆Bコース ハンセン病差別の現状と課題に学ぶ

■定員 80人

■参加費 5,000円 (昼食・資料代・交通費含む)

■集合・出発時間 午前9時30分集合 午前10時00分出発

■日程 10:00 熊本交通センター (ボーリング場下) 出発
移動
10:40 恵楓園着 (園内見学)
12:00 昼食
13:00 恵楓園入所者からの説明と意見交換
15:20 恵楓園出発
16:00 熊本交通センター (ボーリング場下) 着・解散

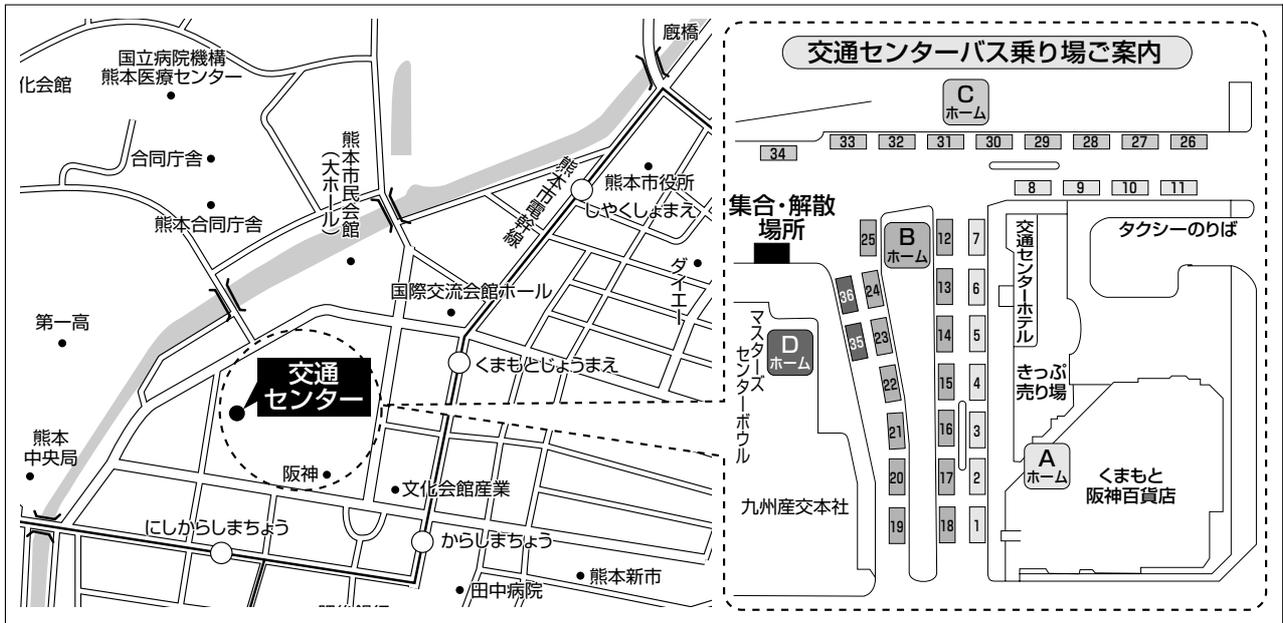
【フィールドワーク参加申し込みについて】

- ①フィールドワークは、2日目の分科会と並行して開催されます。
- ②参加費5,000円です。〈本集会の参加・資料費とは別料金になります。〉
 (内訳 資料代1,000円、昼食1,000円 交通費3,000円 〈貸し切りバス代含む〉)
- ③参加を希望される方は、下記までお申し込み下さい。定数になりしだい締め切らせていただきます。(お申し込み後に、参加申し込み用紙をファックス、もしくは郵便にてお送りいたします。)
- ④申し込み先
 株式会社 JTB (ジェイティービー) 九州熊本支店
 〈担当〉田原 (タバラ) ・宮田
 TEL 096-325-8193 FAX 096-325-8105
 住所 〒860-0807 熊本市下通り1-8-22
- ⑤参加費につきましては、下記の口座へお振り込みをお願いいたします。

《振り込み先》
 銀行名：みずほコーポレート銀行 十二号支店
 普通預金 口座番号 9507702
 名義人：株式会社 JTB九州

【フィールドワークの集合・解散場所】

★集合・解散場所 2コースともすべて、熊本交通センター (ボウリング場下)
 〈付近地図〉



★集合時間は、コースによって異なりますので、ご注意ください。

【臨時バスの運行について】

全体集会1日目と3日目に臨時バスを運行します。(2日目分科会会場へは、公共の交通機関をご利用ください。)なお、運賃は乗車時に整理券をお取りいただき、降車時に整理券記載の番号で金額を確認してお支払い下さい。

●9月30日(土)全体集会 第1日目

行き：午前9時30分～午後2時運行

- ①熊本駅→熊本交通センター(ボウリング場下)→グランメッセ(全体会場)

所要時間：熊本駅から約50分／運賃(片道)420円(熊本駅→会場)
350円(熊本交通センター→会場)

- ②熊本空港(バスのりば②番)→グランメッセ(全体会場)

所要時間：約15分／運賃(片道)330円

帰り：午後4時～午後5時運行

- ①グランメッセ(全体会場)→熊本駅

所要時間：約50分／運賃(片道)420円／途中、「県庁前」「水前寺公園前」(230円)、「味噌天神」(290円)、「通町筋」(330円)、「熊本交通センター」(350円)、「河原町」(370円)、「ニュースカイホテル前」(400円)の各停留所で降車できます

●10月2日(月)全体集会 第3日目

帰り：午前11時30分～午後1時

- ①熊本市総合体育館(全体会場)→熊本交通センター→熊本駅

所要時間：熊本駅まで25分／運賃(片道)230円(駅まで)
180円(熊本交通センターまで)

- ②熊本市総合体育館(全体会場)→熊本空港

所要時間：約30分／運賃(片道)330円